

## 「with コロナ」の夏休み

短い夏休みが来ました。ふだんは終業式があつて、みなさんに直接話すことができる数少ない機会なのですがそれもなく、期末テストを返却するのが精一杯です。東京を中心とした新型コロナウイルス感染者の増加により、私たちは新しい生活様式で暮らすことを余儀なくされ、新しい事態の中で、何が正しいのか判断しなければならない場面が増えています。「校長室より NO. 21」で道徳や倫理について書きましたが、そこで強調したように、道徳や倫理の学習は、たんに自分一人が正しく生きることだけを考える学習ではありません。公正な社会をつかっていくために、どんな判断をすることが倫理的なのかを考える必要があります。(バックナンバーは足柄高校のホームページに掲載してあります。)

さて、すでに生徒支援グループから夏休みの過ごし方については、詳細な注意事項が配付されていると思いますが、私からも重ねて伝えたいと思います。

## 1 部活動等にあって

顧問の先生から指導されていると思いますが、現在と同様、朝の検温と健康観察は継続して、異常がある場合は絶対に無理をせず、先生に連絡をしてください。また、活動中の昼食の時間帯の感染防止に最も注意をしてください。

## 2 海や山でのレジャーについて

県内の海水浴場は今年は開かれていません。しかし、浜辺にでることはできます。また河原なども同様です、人気が少ないからといって、水遊びをすると思わぬ事故に遭遇する可能性があります。私はかつて高校生の水難事故現場に何度も仕事で行きました。亡くなった生徒のご家族の悲しみは言うまでもなく、一緒に遊んでいた友人たち、捜索に協力した学校の先生なども大きなショックを受けていました。飛び込みや遊泳はやめてください。

## 3 飲食店でのマナーについて

親しい人たちと飲食店に行くことがあると思いますが、ニュースでは「夜の街」関連のことが話題になっているとはいえ、通常の飲食店でのクラスター発生についても事例がでて、今後増加することが予想されます。対面で会話をしながらの飲食には注意が必要です。

## 4 自己表現に関わる学習を深めることについて

このような状況のため、学校での学習場面で、他の生徒とコミュニケーションをとったり、発表をしたりという形式の学習が不足しています。文章を書いて自分の意見や気持ちを伝えたり、ネット上などで複数の相手と話して議論を深めたりする機会を意識的につくって、協働しながら知識を積み上げる学習をしてみてください。

## 5 最後に

今この文集を書いている段階で、全国の一日の新規感染者が約 1000 人となっています。若い方の感染者の中には無症状の方がかなりいるようですし、おそらくは感染しても気づかずに抗体だけができていてる人もいるでしょう。ただ、高齢者や基礎疾患のある方にとっては、死に至る危険性があるウイルスであることを忘れてはいけません。